

同志社学校教育ネットワーク 2023年度研究会 開催報告

「同志社学校教育ネットワーク」は、同志社大学教職課程の卒業生ならびに在學生を中心に、よりよい学校教育のあり方について共に探究する機会を創出することを目指して、2022年に発足されました。

2023年度の研究会としては、ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団の常任指揮者を務める高谷光信氏によるご講演会が、今出川キャンパスにて開催され、多くの参加者に支えられて成功裡に終了いたしました。この場を借りて、開催報告を申し上げます。



■ 開催概要

日 時：2023年12月10日（日）13：00～14：30

会 場：同志社大学 今出川キャンパス・良心館107番教室（RY107）

講演者：高谷 光信 氏（ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団・常任指揮者）

演 題：「人と音楽が織りなす物語：ウクライナの心とスラヴの響き」

参加者数：計46名

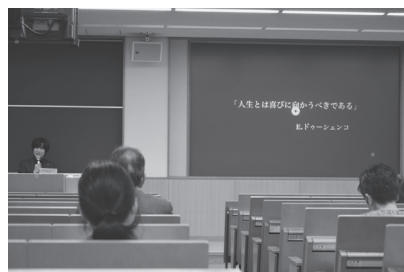
国際社会は、激動の時期を迎えています。現実として今起きている出来事に対して、私たちはどのように向き合うべきなのか、そして、子どもたちに何をどう伝えていくべきなのか。こうした点について理解を深め、共に考える機会とすべく、ウクライナで長年にわたり活動をされておられる高谷氏にご講演を依頼したところ、ご快諾をいただき、開催に至ることとなりました。

ご講演の前半部では、「ウクライナとの出会い」「チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団の指揮者として」というテーマで、キーウで学ばれることになったきっかけをはじめとして、恩師やご友人、オーケストラの楽団員の方々との交流の日々について、お話をいただきました。

後半部では、「ロシア・ウクライナ侵攻」「ウクライナの心とスラヴの響き」というテーマで、侵攻開始後、ウクライナの方々との間で交わされたやりとりに基づいて、日常生活の変化や厳しい現実とともに、ウクライナの方たちが抱えている率直な思いについてお伝えいただきました。加えて、高谷氏の音楽を通じた支援のあり方に対するお考えや、具体的な取り組みの内容についてお話いただきました。

ご講演の最後には、高谷氏の恩師でいらっしゃる E.ドゥーシェンコ氏による「人生とは喜びに向かうべきである」という言葉が紹介されました。ウクライナのこれまでの苦難の歴史と、現在置かれている状況とを踏まえると、よりいっそう重みのある言葉として受け止められ、心に強く迫るものがありました。

音楽には国境を越え、言葉を超えて、人々を結ぶ力があります。高谷氏によるご講演は、音楽を通じて人々の心に共感と希望を届け、困難な状況に立ち向かう力強いメッセージを提供するものでした。質疑応答の時間では、参加者から寄せられた質問に高谷氏が丁寧に答える形で、有意義な交流が行われました。



ご参加いただいた皆様、また、ご協力いただいた皆様に、あらためて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今後も、同志社学校教育ネットワークでは、ひきつづき様々なイベントを開催していく予定ですので、ふるってご参加いただけますと幸いです。

■ 参加者の方からの感想（一部抜粋）

- 音楽を通して平和を考えることができました。音楽でしか関われない平和の臨み方があると感じました。
- 長年ウクライナと交流されてきた高谷先生のお話は、リアルに心に迫ってくるものがありました。日々、様々なニュースの中でウクライナの現状が見えなくなりつつある今、今日話を聞いた者として、自分に出来ることを改めて考えたいと思いました。
- ウクライナで長年、現地の方々と活動された指揮者の方から、リアルなお話を聞けたことで、平和や人権、人にとっての幸せや達成感など、様々な視点で考えるきっかけとなりました。また、高谷さんが音楽を通してウクライナを支援しようと決心されるまでのプロセスやご自身の主張に対する批判やバッシングにどう向き合い、乗り越えて来られたかというお話にも大変感銘を受けました。今回の講演は、幼稚園を含めて学校教育に携わる者や教員養成校の教員にとって、貴重な学びの機会であったと思います。
- ウクライナとロシアの戦争は、遠い異国で起こっている戦争であっても、決して他人ごとにはしてはいけない、現状を少しでも知らなければいけないと感じ、参加させていただきました。ウクライナの状況を少しでも知ることが出来て良かったです。
- 今世界で起きている戦争については、私たち教育者も生徒たちと共に何が自分たちにできるのかを悩んでいましたが、今日の講演会の内容についてあと二週間後の終業式の校長の式辞に生かしたいと思っています。貴重な講演会、ありがとうございました。
- ウクライナの現状は情報として知ってはいたが、現場にいる人の話を聞けてとても興味深かった。ただ音楽をしていたい、と言って泣いた人をみてとても心が苦しくなった。それと同時に我々の日常は当たり前のようだけど本当にかげがえのないものなのだなと感じさせられた。音楽に関しては素人だが、演奏を聴くと気持ちがひしひしと伝わってきて感動した。

■ 講演者プロフィール

高谷 光信 (Mitsunobu Takaya)



京都市立堀川高等学校音楽科（現・京都堀川音楽高等学校）を経て大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業、ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団常任指揮者（2012年4月～）。東京混声合唱団指揮者（2019年4月～）。一般社団法人日本ウクライナ音楽協会理事長（2022年2月～）。四條畷市市民総合センター NMP 芸術監督（2022年10月～）。関西大学客員教授，他。第16回京都芸術祭京都市長賞受賞（2002年）。チェルニーヒウ州文化功労賞受賞（2012年）。チェルニーヒウ州行政長文化功労感謝状受彰（2019年）。

■ 本件に関するお問合せ先

同志社大学 免許資格課程センター事務室
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL：075-251-3208
E-mail：ji-menky@mail.doshisha.ac.jp

